

一般社団法人戸田市薬剤師会 議事録

記録日	H29.11.21
記録者	芹澤

日時	H29.11.21 13:00～15:00	出席者	染川、野口、武長、相良、佐貫、成塚、芹澤、宮下
場所	戸田市文化会館 302 会議室		

議 題 しゃだん

1. 会長報告
2. 副会長・委員会報告
3. 各理事・委員会報告
4. その他

会議内容

1. 染川会長より
 - (1) 活動報告 2017.9.14～
 - 9/14 川口保健所 在宅医療研修会
 - 9/25 戸田市役所福祉部・市民医療センター会議
 - 10/11 蕨戸田歯科医師会在宅勉強会講師派遣「腎機能低下者の抗生剤選択」コスモ調剤 鎌田先生「ポリファーマシーについて」理事芹澤、染川会長同席
 - 10/20 戸田市立包括支援センター 医療介護連携会議
 - 10/25 地域薬剤師会代表者・連盟支部長合同研修会
 - 10/26 他職種連携の会
 - 10/27 蕨戸田地区保険医療協議会研修会
 - 10/27 第2回戸田中央病院・戸田市薬剤師会薬薬連携勉強会
 - 10/30 平成30年戸田市賀詞交歓会発起人会会議
 - 10/30 さいたま税理士法人顧問契約締結
 - 11/3 かかりつけ薬剤師の連携力向上研修会 野口副会長出席
 - 11/9 第5回戸田市国民健康保険運営協議会
 - 11/9 三師会ゴルフコンペ・懇親会
 - 11/12 戸田市健康福祉祭・薬物乱用防止キャンペーン
 - 11/14 戸田市薬剤師会学術講演会

「頻尿と過活動膀胱について～泌尿器科医からのアドバイス～」
ももたろう腎・泌尿器クリニック 院長 船橋健二郎先生

- 戸田市健康福祉祭は36名、学術講演会には39名の会員の先生の参加を頂いた。
- 第5回戸田市国民健康保険運営協議会にて詳細決定し、議会にかけて条例の制定を行う。
- 休日夜間会営薬局の件は9/25に最終的な会議をおこなったが、建設費や人件費に面で予算が組めないとのことで残念ながらご賛同頂けなかった。今後も懸案事項として取扱い。
- 戸田市薬剤師会前々会長の江口先生がご逝去された。

- 策定予定の薬剤師会運営規定は時間をかけて練っていく方向性。
- 賀詞交歓会の出席は4名。

2. 副会長・委員会報告

武長副会長より

- 薬物乱用防止活動について、川口保健所と一緒にビラ配りを行った。予定数を全て配り終えた。
- 12/1 学校保健会の役員会議
- 12/7 学校薬剤師会忘年会
- 1月 新曽北小薬物乱用講演会実施予定

野口副会長より

- 蕨市自立支援地域包括ケア会議モデル事業経過報告。
- 福祉施策審議会報告。
- 薬薬連携の会について、戸田中央総合病院鈴木薬局長と面会し、
 - ・研修会の相互乗り合い
 - ・(同じ薬剤師だが)お互いの立場の違いを理解
 - ・顔の見える関係の構築等について合意。関連して戸田市薬剤師会学術講演会の参加費について、当該関係者は当面無料にて参加できることを全会一致にて確認。
- 幼稚園、高校の学校薬剤師の取扱いについて、現在ルールがない状態となっているが、小中学校と同様に薬剤師会に所属する薬剤師が行う、もしくは薬剤師会に入っていない方は薬剤師会に入っただいて活動を行っていくとどこで合意。報酬額等詳細については学校薬剤師委員会で議論することとする。

<在宅委員会報告>

- 「戸田市在宅薬剤師情報交換会の企画案」についての説明あり。対象は依然アンケートで出席希望とした会員を対象に10名程度で行うことに決定。2/21実施予定。
- 無菌調剤について、現在戸田市内には施設はない。蕨市のふれあい薬局様より施設利用の許可は頂いている。今後は薬剤師会として共同利用を申し入れ、費用等の詳細を詰めていく。
- 地域包括ケア会議の参加について、行政にお伺いをしても「すでに行っている」という回答であり、形が見えず参加できていないという現状がある。広く情報を集めるとともに、理事中心に参加していく方向性をとる。蕨市の地域包括ケア会議の傍聴をすることもできるので相談を。

3. 各理事委員会報告

相良学術委員長より

- 学術講演会開催に当たり、蕨の薬剤師会にもご案内した。会長から先に流れるかどうかは戸田市薬剤師会の問題ではないが、毎回筋を通すためにも藤井会長に御案内することとする。
- 次回は3月の第一火曜日に診療報酬改定の勉強会を予定。EMに講演依頼済み。

佐貫薬学生実務実習委員長より

- 2期がおわりミーティング実施。
- 蕨市に受け入れ薬局が1薬局しかなく、戸田市、川口市がサポートし3市で実践型教育を行って行くことで合意した。
- 成塚理事より、受け入れ学生の中で「調整機構」を通さない学生が戸田市にいるのかについて質問があり。他地区において例えば大手調剤薬局が独自に学生を集めるようなシステムがあり調整機構の名簿に載ってこない学生が多数いるとの事。これについては、戸田市では一人もいないことを佐貫理事より確認。やはり調整機構は戸田市薬剤師会の上部団体である埼玉県薬剤師会と常に連携をとりながら進めていて、その下部団体の戸田市薬剤師会、そして指導薬剤師までのつながりを考えると、安心してかじ取りを任せられるという利点が大きいとの事。

成塚広報委員長より

- HPを更新。今回戸田市健康福祉祭りの写真をたくさん広報委員にとってもらったが、個人情報の観点からHPに使用できる写真が少ないことに気づいたとの事。今後は会員は前を向き、一般の方は後ろを向いている写真を撮るようにする。

芹澤三師会委員長

- 11/9 武蔵 OGM ゴルフクラブで13名がプレー。三師会委員の芹澤、早水が出席。その日の夜に総会（懇親会）が開かれ、染川会長、武長副会長、野口副会長、芹澤理事、早水委員が出席。医師会からは金子会長、早船副会長、歯科医師会からも山岡会長など各団体の責任者が出席し、親睦を深めました。今回の幹事は蕨市薬剤師会で3年後に戸田市薬剤師会が幹事を任される予定。

決定事項

- 幼稚園、高校の学校薬剤師の戸田市薬剤師会への入会依頼
- 3/6 学術講演会「診療報酬改定勉強会」
- ふれあい薬局の薬剤師会としての会員の利用申し入れ
- 2/21 在宅委員会の行う「戸田市在宅薬剤師情報交換会」

検討事項

- 会営薬局開設に向けて行政との継続交渉。
- 学校薬剤師の複数校担当の課題と新人教育の方法論。
- 戸田市内幼稚園の学校薬剤師の調査と確認作業。
- 戸田中央総合病院薬剤科との薬薬連携の深化
- 蕨市薬剤師会との連携。
- 戸田市行政との連携。市民に見える活動。
- 実習生の参加できる薬剤師会事業